

東北地方太平洋沖地震ボランティア活動の報告

ハイスピードコーポレーション株式会社

2011年7月4日 作成

3月11日の東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の一日も早い復旧・復興を願い、南三陸町へボランティアに行きました。社内の有志が参加した災害ボランティア活動の内容をご報告いたします。

【活動期間】 第1班:2011年6月29日(水)～2011年7月1日(金)

【参加人数】 7名

1. ボランティア活動 1日目(2011年6月29日)

宿泊先「南三陸ホテル観洋」から撮影



奥に見えるところが今回のボランティア先の南三陸町志津川地区です。

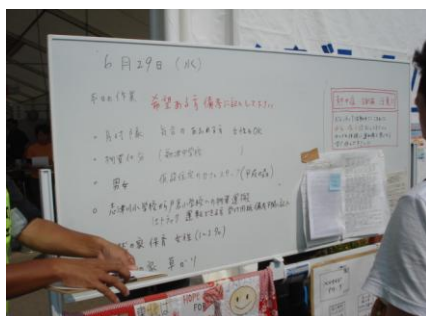
宿泊した宮城県南三陸町「南三陸ホテル観洋」は被災した方々を受け入れ、今も数百人が避難生活を送っています。

下水道関係は完全には復旧しておらず、給水車が毎日水を届けに来ていました。

部屋のトイレは使えない状況でしたが、翌週には復旧することのこと。

復旧中にもかかわらず、私たちを受け入れてくださった「南三陸ホテル観洋」のスタッフの皆さまに心よりお礼申し上げます。

南三陸町災害ボランティアセンター



当日の作業が書かれています。



手作りの応援メッセージです。

初日は避難所になっていた「志津川小学校」での片づけです。





この場所には児童館が建設されるそうです。

津波で町のほとんどが失われた南三陸町では、児童館や公民館が津波で流され、子どもたちが集まる場所、笑顔で遊べる場所がとても少なくなってしまったとのこと。

仮設住宅や避難所では大声を出したり、遊んだりすることができません。

子どもたちを笑顔にしたいという目的に向け、少しお役に立てたと感じています。

東北地方太平洋沖地震ボランティア活動の報告

2. ボランティア活動 2日目(2011年6月30日)

2日目は、「志津川自然の家」の周辺での作業です。



漁船がほとんど流されたため、漁業から農業で生活する人が増えるそうです。

この日は、農地開拓と水路の泥上げ作業を行いました。

今回は3, 4人のグループに分かれての作業です。

水路の泥上げ作業中



少し山を登ったところの笹を刈っています。この土地を畑にするそうです。



恵みの水でしばしの休憩



単純作業ですが、ハードな肉体労働でした。
作業10分後には何も考えられなくなり、黙々と鎌を動かすのみとなりました。



これでこの日の作業は終了。だいぶ刈れたと思いましたが、まだ1／3とのこと・・・

東北地方太平洋沖地震ボランティア活動の報告

3. ボランティア活動 3日目(2011年7月1日)

この日も前日に続き「自然の家」周辺での作業です。



数人ずつに分かれて作業開始



農地にするため、竹を切りとっています。



作業場所のすぐ下まで
津波が来たそうです。



作業の休憩中、被災宅の方から
「遠いところ大変な作業をありがとうございます」と
何度もお礼を言っていました。

本当に大変なのは被災した方たちだと思うと、
とても胸が熱くなりました。

午後からの作業 竹を置く場所を作るために、草刈りです。



作業終了後、南三陸町災害ボランティアセンターへ



ボランティアセンター前にはテントが張られていて、ボランティアの方々が生活をしています。
何日も救援救済活動にあたられている方々に心から敬意を表します。



今回参加した7名

大きな怪我をすることもなく活動できました。

3日間のための活動のため、私たちの支援は小さなものであったかもしれませんが、
今後も出来る限りの支援を続けたいと思います。

今回の作業では、作業道具が足りないと感じたため、
第2班には作業道具を自分たちで用意するように伝えました。

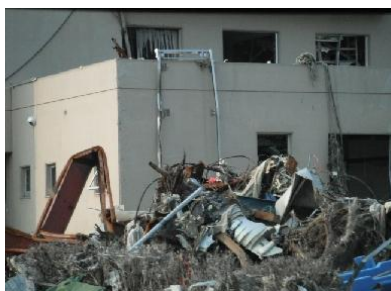
また、震災から3カ月以上が経ちましたが、まだまだ人力が必要なように感じました。

今回、ボランティアに来ることができたのは、毎晩遅くまで留守を預かってくれた
社員のおかげでもあり、感謝しています。

この貴重な経験を次に伝えて、これからの役に立てていこうと思います。

南三陸町の被害状況

予想を遥かに絶する被害です。ここに生活していた人のことを考えると、とても心が痛みました。



三階建ての上に車が打ち上げられています。
襲ってきた津波の高さが想像できます。



被災された皆様の一日も早い復旧復興を、心よりお祈り申し上げます。